

いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成23年1月19日



「いちご部会先進地視察 (ブランド化に向けた取り 組み)」が実施されました。

12月1日(水)、宮城県蔵王町において、JAいわき市いちご部会の主催による先進地視察が行われました。

いわき地方においては、福島県オリジナル品種「ふくはる香」の導入が進んでおり、品種を活かした販売対策の確立、ブランド化が求められています。

今回の研修は、宮城県における新品種の導入と販売状況、品種特性を活かした販売方法などを研修することにより、いわき地方での利活用の可能性について検討することを目的としています。

研修先では、JA担当者や生産者からの説明に熱心に耳を傾けるとともに、積極的な質疑応答が行われました。

参加者は、いちご栽培先進地の動向をつぶさに知るとともに、生産者同士の交流が図られ、今後の生産への意欲につながるものとなりました。



(交流を図る生産者)

また、県では部会の協力により、福島県オリジナル品種「ふくはる香」のブランド化に向け、消費者PRの一環として、1月29日に産地を紹介する「ミニ旅」を開催するとともに、スパリゾートハワイアンズにおいて、ウェルカムフルーツとして「ふくはる香」の提供を行います。

また、2月5、6日には、いわき市内の量販店で試食販売を行う予定です。

(詳細は県園芸課 HP 参照)

いわきのいちごは、11月から出荷がはじまっており、今後とも、いわきいちごブランドを育てていくため、おいしさにこだわった「ふくはる香」の生産を支援していくこととしています。ぜひ手にとって味わってみてください。



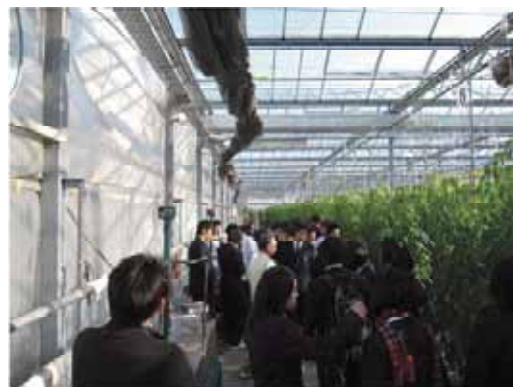
(収穫が開始された「ふくはる香」(平下大越地内))



「農業生産現場・施設等研修」 を開催

12月6日(月)、いわき市中央卸売市場、いわき市フラワーセンター及び農事組合法人大野水耕生産組合において、県立磐城農業高等学校園芸科1年生40名を対象として、農業生産現場・施設等視察研修を開催しました。

この研修は、農業高校生が地域の農業生産現場及び農業施設等の視察を行うことで、地域の農業・農村に対する理解を



(農業生産現場・施設等視察研修(四倉町地内))

深め、次代を担う若い農業担い手を確保・育成することを目的としています。

研修場所で生徒達は、普段消費している農産物の流通経路や植物工場のような最新の施設園芸について、理解を深めるとともに、農業担い手の役割の重要性などを真剣に考えている様子でした。



「食育活動」が実施されました。

12月7日（火）、県立いわき養護学校において、中学部3年生を対象とした『食に関する交流会』が実施されました。

生徒達は、10月に農作物、11月に食材の流通の話聞いたうえで、第3回目の今回は、実際にタラの料理、サツマイモのポタージュスープ、イチゴのショートケーキを作りました。

いわき地方における地産地消や食育活動を実践している北尾博水氏（フランス料理シェフ）のほか、市内の3名のシェフが講師となり、シェフと一緒に、フライパンで焼いたタラ、ポタージュスープを皿に盛り付けました。生徒達は、ケーキ作りではカスタードクリームをスポンジの間に挟み、その上に生クリームを塗って装飾したところに、思い思いに切ったイチゴを並べていました。

今回は生徒の保護者も参加しており、タラの調理を手伝ったり、ブロッコリーやイチゴを包丁で切る様子を最初は不安そうに見ていましたが、調理が進行するに連れ、楽しげにシェフの手伝いをする様子に感心し、その様子に胸を撫で下ろしていたようでした。



（イチゴのショートケーキ）



「フレッシュ農業ガイド講座（食農教育）」を開催

12月7日（火）、県立磐城農業高等学校において、「フレッシュ農業ガイド講座（食農教育）」～いわきの郷土食をつくろう～を開催しました。

この講座は、地場農産物を使った郷土食を体験することにより、地産地消と食文化への理解を深めることを目的としています。

この講座を受講した生活科学科3年生の生徒14名は、いわき地区生活研究グループ連絡協議会員の指導を受けながら、「いもがらの油炒め」、「切り干し大根の煮物」など5品を調理実習しました。

生徒達は、“じゅうねん”や“いもがら”など昔から伝わる食材への関心を示すとともに、普段作り慣れない伝統料理の調理と試食を通じて、改めて「食」と「農」の大切さと郷土を慈しむ大切さを認識した様子で、この体験を今後の生活に活かしていきたいなどの意見も聞かれました。

今後は、2月下旬に、フラワーアレンジメント実習及びいわき農業青年クラブ会員との意見交換会の開催を予定しています。



（フレッシュ農業ガイド講座（食農教育））



「ステップアップ講座経営セミナー」を開催

12月2日（木）、9日（木）、16日（木）JAいわき市において、確かな経営感覚

を身につけた地域農業の担い手になっていただくため、認定農業者や集落営農組織等の方々を対象とした経営セミナーを開催しました。

このセミナーは11月までの4回に引き続き、12月は、第5回が「パソコン簿記」、第6回が「農産物、農産加工品の原価計算」、第7回が「農産物直売所の現状と課題」について実施しました。各回とも講義のほか、パソコンでの演習やグループ討議を行い、グループによる講義では、初対面の農業者が一つのテーマで討議や情報交換を行い、相互の交流が深まりました。



(第5回講習会(パソコン簿記))

今回までのセミナー参加者は、延べ91名となり、多くの農業者の方々が出席され、短い時間にも拘わらず内容は多岐にわたり、参加者から多くの質問があり、有意義なセミナーとなりました。参加者からは、「パソコンでの簿記処理の利便さが分かった。」、「直売所の多くの事例を知ることができて良かった。」などの意見が聞かれました。

セミナーを受講した皆さんには、講義や演習で学んだことが、今後の経営改善に役立てられるものと期待されています。



(第7回講習会(「農産物直売所の現状と課題」のグループ討議))



「安全パトロール」を実施

12月17日(金)、いわき建設会館及び農林土木工事の現場において、いわき農林事務所管内建設工事安全推進協議会(会長：高梨所長)主催による工事現場安全パトロールを実施しました。

このパトロールは、いわき労働基準監督署、建設会社、県など36機関・団体等が参加し、管内建設工事現場の安全管理などの対策状況を相互に点検・評価することで、工事にかかる事故の未然防止を目的として、年2回開催しています。

始めに会長のあいさつが行われ、その後は参加者が2班に分かれて、それぞれ3カ所の現場においてパトロールを行いました。

安全パトロール終了後は、各班ごとに現場での優良事例や指摘事項などを取りまとめ、発表を行いました。

その後、労働基準監督署の平子課長から、自動車の事故防止やコンクリート養生に伴う一酸化炭素中毒の防止など冬期間の留意事項を含め、全体を通しての講評があり、参加者は、あらためて現場での災害の防止や安全確保について再確認していました。



(工事現場安全パトロール)



「ホールクroppサイレージ推進セミナー」を開催

12月20日(月)、県いわき合同庁舎において、稲WCS(※)や飼料用米に関心の高い栽培農家や畜産農家など43名が参加して「いわき地方稲WCS推進セ

ミナー」を開催しました。

セミナーでは、生産調整の対象作物として、水田の有効活用可能な稲 WCS などの新規需要米の推進や平成23年度新規需要米の生産・需給調査結果を基に、地域における需給調整の仕組みづくりについての説明や、討議が行われました。

この中で、高品質な稲 WCS の生産については、専用収穫機械の導入が必要不可欠であり、導入方法、組織づくりが重要であることや、飼料用米については、価格設定や保管方法などの課題が示されました。



(いわき地方WCS推進セミナー)

また、畜産農家から、行政やJAに対して稲 WCS への前向きな支援方策の要望がありました。

こうしたことから、いわき農林事務所では、今回明らかとなった課題を解決するため、市及びJAとの連携を図りながら、新規需要米の生産拡大を図られるよう支援していくこととしています。

(※ 稲 WCS：稲の穂と茎葉を丸ごと乳酸発酵させた粗飼料のこと。)

 「口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ対策会議」を開催

12月21日(火)、県いわき合同庁舎

において、平成22年度口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ防疫対策に関する連絡会議を開催しました。

当日は、畜産関係団体をはじめ、いわき市、いわき市保健所、いわき家畜保健衛生所、いわき地方振興局、いわき建設事務所、いわき教育事務所、いわき市内全警察署など多くの関係者が出席しました。



(口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ対策会議)

会議では、はじめに、口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザの国内外での発生状況及び対応等について、防疫作業の具体的な事例紹介を含めて説明を行いました。

次に、いわき地方でこれらの家畜伝染病が発生した場合における各機関の所掌事務、役割分担、防疫対策についての人員配置等について説明が行われました。

アジア周辺諸国では、依然として口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが発生しており、日本国内への感染や拡大について予断を許さない状況にあります。

万一、これらの家畜伝染病が管内において発生した場合には、いわき農林事務所長を本部長とするいわき地方対策本部を設置し、現地での防疫作業のほか通行車両等の消毒ポイントの設置や交通の規制等、万全の体制を確保することとしています。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ **J Aいわき市地域営農推進協議会**
日 時：平成23年1月20日（木）14:00～16:00
場 所：J Aいわき市本店
- ◎ **全国稲作経営者会議青年部 第22回若い稲作経営者研究会**
日 時：平成23年1月27日（木）13:30～17:15
場 所：いわきワシントンホテル椿山荘
- ◎ **県オリジナル品種ブランド化推進事業「ふくはる香（いちご）を知る冬のミニ旅」**
日 時：平成23年1月29日（土）10:00～12:00
場 所：いわき市四倉町ほか（大野観光いちご園とJ Aいわき市直売所）
※県園芸課ホームページで1月20日まで募集
- ◎ **遠野風土と食文化体験「味噌づくり」**
日 時：平成23年1月30日（日）
場 所：いわき市遠野オートキャンプ場 10:00～12:30
※2月6日（日）、13日（日）も同一の日程で実施予定
- ◎ **いわき市米粉普及推進会議 実需者との意見交換会**
日 時：平成23年2月3日（木）
場 所：J Aいわき市グリーンプラザ 12:00～16:00
- ◎ **県オリジナル品種ブランド化推進事業「ふくはる香（いちご）量販店PR」**
日 時：平成23年2月5日（土）、6日（日）
場 所：マルトSC中岡、ヨークベニマル好間店 12:00～16:00
※後日、県園芸課ホームページでお知らせします。
- ◎ **いわき地域6次化商品等販売キャンペーン（仮称）**
日 時：平成23年2月25日（金）～27日（日）店舗営業時間内
場 所：マルトSC中岡店、SC草野店
※詳細は、別途ホームページ等でお知らせします。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

（県いわき合同庁舎 3階）URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp